

2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月14日

上場会社名	株式会社くふうカンパニー	上場取引所	東
コード番号	4399	URL	https://kufu.co.jp/
代表者	(役職名)代表取締役 代表取締役	(氏名)堀口 育代 新野 将司	
問合せ先責任者	(役職名)取締役	(氏名)菅間 淳	(TEL)03(6264)2323
四半期報告書提出予定日	2019年8月14日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 有		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の連結業績(2018年10月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	3,030	—	151	—	147	—	△34	—
2018年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年9月期第3四半期 △30百万円 (—%) 2018年9月期第3四半期 ー百万円 (—%)
 EBITDA 2019年9月期第3四半期 277百万円 (—%) 2018年9月期第3四半期 ー百万円 (—%)
 「EBITDA」は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算出したものです。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2019年9月期第3四半期	円 銭 △1.92	円 銭 —
2018年9月期第3四半期	—	—

(注) 当社は2018年10月1日設立のため、前年同四半期の係数及び対同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2019年9月期第3四半期	百万円 5,656	百万円 4,822	% 83.3
2018年9月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 4,710百万円 2018年9月期 ー百万円

(注) 当社は2018年10月1日設立のため、前年度の係数は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	—	—	—	—
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

当社グループは、2019年9月期の連結業績予想については、売上高4,500百万円、営業利益200百万円、EBITDA 400百万円と予想しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 3社(社名) (株)アールキューブ、(株)Zaim、(株)フルスロットلز、 除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年9月期3Q	17,936,586株	2018年9月期	—株
2019年9月期3Q	1,061株	2018年9月期	—株
2019年9月期3Q	17,935,539株	2018年9月期3Q	—株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は共同株式移転の方法により、2018年10月1日付で株式会社オウチーノ及び株式会社みんなのウェディングの完全親会社として設立されました。当第3四半期連結累計期間は設立第1期であるため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間との対比は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「くふうで生活を賢く・楽しく」を経営理念とし、ユーザーが様々なライフイベントにおいて、より賢く、楽しく意思決定を行えるようサービスの提供を行っております。

2018年10月1日に共同株式移転の方法により、株式会社オウチーノ及び株式会社みんなのウェディングの完全親会社として設立された当社は、そのさらなる事業規模拡大及び継続的成長、企業価値の向上を行うため当第3四半期連結累計期間において子会社3社の新設、3社の株式取得を行っております。

当第3四半期連結累計期間の業績については、売上高は3,030,554千円、営業利益は151,888千円、経常利益は147,237千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は34,501千円となりました。

報告セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

<結婚関連事業>

当事業は、株式会社みんなのウェディングによるウェディング総合メディア「みんなのウェディング」の運営、及び株式会社アールキューブによる会費制を中心とした結婚式プロデュースサービス「会費婚」の提供により構成されております。

「みんなのウェディング」においては、花嫁・花婿の立場に立って、結婚式場の情報や、それに関わる口コミや実際の費用明細、その他結婚式に関する様々な情報提供に加え、専門スタッフによるチャットや対面での結婚式場選びの比較・訪問・申込のサポートを提供しております。また、花嫁・花婿同士が交流を通じて結婚式の情報収集を行えるコミュニティの場「花コミュ」を提供しております。

「会費婚」においては、プロデュース機能に特化し、既存結婚式場の空きスペースを有効活用することによって結婚式の金銭的な負担を軽減し、明朗会計での結婚式実現をサポートしております。

当第3四半期連結累計期間においては、当事業全体のビジョンとして「えらべる結婚式をお得な価格でつくる」を新たに掲げ、本格的な一体化運営を開始しました。花嫁・花婿が本当に自分にあった結婚式を挙げられるよう、検討段階の情報収集から挙式当日の開催までを一気通貫にサポートできるサービスづくりを推進しております。

また、当第3四半期連結累計期間において株式会社フルスロットルズの発行済株式の51%を取得しておりますが、当第3四半期連結累計期間の営業成績への影響はありません。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の結婚関連事業の売上高は2,229,218千円、営業利益は418,044千円となりました。

<不動産関連事業>

当事業は、「すまいを変えて、くらしを豊かに。もっと。」をミッションとして、住宅・不動産関連情報提供サービス及び富裕層向けコンサルティングサービス等を行っております。

住宅・不動産関連情報提供サービスでは、住まい探しを行うユーザーに向けて情報提供を行うポータルサイト「オウチーノ」を運営し、住宅・不動産業界での情報格差をなくすことで、ユーザーが住まいの売買・賃貸を快適に行えるサービスの提供を目指しております。

富裕層向けコンサルティングサービスにおいては、富裕層のお客様の需要を適切・適宜に汲み取る「お客様のトータルケア」を目指しております。いずれのサービスもユーザーファーストを徹底し、ユーザー目線の事業運営やサービス開発を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、物件の周辺に関する情報を簡単に抽出し、住宅を探しているユーザーのニーズに合わせて提案可能な不動産営業支援ツール「オウチーノ くらすマッチ」の拡販と、くらしに関する総合情報メディア「ヨムーン」の収益化に注力しました。また、富裕層向けコンサルティングサービスにおける物件の取扱い件数も堅調に推移しました。グループ内リソースの再配置による人員規模の最適化等の進展も寄与し、損益状況は大きく改善しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の不動産関連事業の売上高は733,709千円、営業損失は88,202千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,656,073千円となりました。主な内訳は現金及び預金1,786,571千円、のれん2,787,749千円であります。

負債は833,149千円となりました。主な内訳は買掛金173,979千円、短期借入金80,000千円、長期借入金72,462千円であります。

純資産は4,822,924千円となりました。主な内訳は資本剰余金4,668,940千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループにおいては、「生活者による自立・自律的なサービス取捨選択」の実現を目指し、事業を展開する各生活領域における情報格差の解消、「メディア+サービス」による新たなサービスモデルの提供を行ってまいります。

結婚関連事業領域においては、メディアである「みんなのウェディング」とサービスである「会費婚」の一体化、及びウェディングドレスの販売等の付帯領域における事業の拡大を行うことにより、一気通貫なサービスの提供を推進してまいります。

不動産関連事業領域においては、引き続き不動産会社向け営業支援ツールサービスの開発、拡充に注力するほか、組織再編により同領域で運営していたメディア事業を独立した組織として運営し、グループ各事業領域のメディアを横断的に構築することで、よりわかりやすい情報循環の構築を目指します。

金融事業領域においては、日々の暮らしに寄り添い行動の変化を促す「Zaim」、ライフイベントをきっかけとした保険の検討支援を行う「保険のくふう」に注力することにより、生活者がより賢く、楽しく「おかね」と向き合えるサービスの提供をいたします。

また、これらの領域にとらわれることなく、生活者の日々の課題を解決し、暮らしを豊かにするサービスを積極的に提供してまいります。

これらの結果、当社グループにおける2019年9月期の連結業績は売上高4,500百万円、営業利益200百万円、EBITDA 400百万円を予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,786,571
受取手形及び売掛金	351,397
商品	37,359
貯蔵品	250
その他	234,606
貸倒引当金	△5,612
流動資産合計	2,404,571
固定資産	
有形固定資産	139,904
無形固定資産	
のれん	2,787,749
その他	137,551
無形固定資産合計	2,925,301
投資その他の資産	
繰延税金資産	34,598
その他	292,653
貸倒引当金	△140,956
投資その他の資産合計	186,295
固定資産合計	3,251,501
資産合計	5,656,073

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2019年6月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	173,979
短期借入金	80,000
1年内返済予定の長期借入金	2,000
未払法人税等	132,346
ポイント引当金	6,064
その他	326,264
流動負債合計	720,655
固定負債	
長期借入金	72,462
繰延税金負債	2,964
資産除去債務	37,066
固定負債合計	112,493
負債合計	833,149
純資産の部	
株主資本	
資本金	50,068
資本剰余金	4,668,940
利益剰余金	△7,809
自己株式	△910
株主資本合計	4,710,288
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	△242
その他の包括利益累計額合計	△242
新株予約権	2,072
非支配株主持分	110,806
純資産合計	4,822,924
負債純資産合計	5,656,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)
売上高	3,030,554
売上原価	1,257,210
売上総利益	1,773,344
販売費及び一般管理費	1,621,455
営業利益	151,888
営業外収益	
受取利息	18
貸倒引当金戻入額	1,322
還付加算金	1,072
その他	1,513
営業外収益合計	3,927
営業外費用	
支払利息	292
為替差損	7,095
その他	1,190
営業外費用合計	8,578
経常利益	147,237
特別利益	
資産除去債務戻入益	6,020
負ののれん発生益	2,816
その他	266
特別利益合計	9,102
特別損失	
固定資産売却損	634
減損損失	5,345
事務所移転費用	25,078
その他	1,502
特別損失合計	32,560
税金等調整前四半期純利益	123,779
法人税、住民税及び事業税	159,996
法人税等調整額	△6,075
法人税等合計	153,921
四半期純損失(△)	△30,141
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,359
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,501

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△30,141
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	91
その他の包括利益合計	91
四半期包括利益	△30,050
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,409
非支配株主に係る四半期包括利益	4,359

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、共同株式移転の方法により、2018年10月1日付で株式会社オウチーノ及び株式会社みんなのウェディングの完全親会社として設立されました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が50,068千円、資本剰余金が4,668,940千円、利益剰余金が△7,809千円、自己株式が△910千円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	結婚関連 事業	不動産関連 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,229,218	733,709	2,962,927	65,666	1,960	3,030,554
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	10,402	△10,402	—
計	2,229,218	733,709	2,962,927	76,068	△8,442	3,030,554
セグメント利益又は損失 (△)	418,044	△88,202	329,842	△26,618	△151,334	151,888

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「金融関連事業」及びグループ内各事業に対する支援領域で発生した売上高及び利益または損失であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社収益221,400千円及び全社費用△291,657千円、のれん償却額△81,255千円が含まれております。全社収益は、各事業会社からの業務支援料が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社フルスロットルズの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「結婚関連事業」において、資産の金額が223,569千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「結婚関連事業」において、2019年6月30日をみなし取得日として株式会社フルスロットルズの株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

なお、当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間において2,816千円であり、当該負ののれん発生益はセグメント利益には含めておりません。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

名称 株式会社フルスロットルズ

事業の内容 ウェディングドレス等の販売業務、結婚式のプロデュース事業の運営

② 企業結合を行った主な理由

当社グループでは、結婚関連事業領域において予め、メディアを通じた情報提供から結婚式当日のサービス提供まで、花嫁花婿の結婚式づくりを一気通貫でサポートできるよう、事業構造の転換と強化を推進しています。

ウェディングドレスをはじめとする衣裳は、結婚式を彩るうえで欠かせない要素である一方、レンタルないし購入の検討においては、価格やデザインをはじめ、花嫁花婿にとって選択の難しい要素が多く存在します。この度、インポートブランドを中心にウェディングドレス販売において長年の実績を持つ株式会社フルスロットルズをグループ会社として迎えることで、メディアにおける情報の量および質の強化、また、「フォトウェディング」など、新しい結婚式スタイルの提案力獲得も期待されます。

花嫁花婿が、それぞれのニーズに合わせて選べる結婚式の新しい形をつくり、当社グループが提供するサービスを活用して結婚式を挙げていただけるよう、事業を推進してまいります。

③ 企業結合日

2019年6月28日(株式取得日)

2019年6月30日(みなし取得日)

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得した議決権比率

51.0%

⑦ 取得企業を決定するに至る主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したためであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績期間

被取得企業のみなし取得日を2019年6月30日としており、かつ四半期連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから貸借対照表のみを連結しているため、当第3四半期連結損益計算書については被取得企業の業績を含んでおりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

当社は株式譲渡契約において秘密保持義務を負っているため記載をしておりません。

(4) 負ののれん発生益の金額及び発生原因

① 負ののれん発生益の金額

2,816千円

② 発生原因

企業結合時の時価純資産額が取得原価を上回ったため、その差額を負ののれん発生益として計上しております。